

# 研究協力のお願

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

手根管症候群における MRI 画像を用いた母指球筋面積と神経伝導速度の関係

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2010年4月～2026年3月に昭和大学藤が丘病院で手根管解放術の手術を行った患者さん

## 2. 研究目的・方法

頻度の高い末梢神経障害の1つに手根管症候群という疾患があります。手首にある手根管内部の正中神経が周囲の腱や骨などにより圧迫されることで、手の痺れや進行すると母指球の筋肉が萎縮するといった症状が現れる疾患です。診断にはMRI検査や神経伝導検査などが用いられています。その中でも軟部組織の描出に優れたMRI画像は、圧迫された正中神経の形状や、腫瘍やガングリオンといったその他の圧迫の原因の特定、また母指球筋の形状や状態を確認できます。神経の伝わる速さを計測できる神経伝導検査では、症状の程度や神経の通りが悪い部分の特定が可能で、手術後の経過観察としても使用されています。しかし、症状の進行に伴って萎縮する母指球筋の面積と、手術前後の神経の速度の関係を示した報告はありません。

本研究では手術前のMRI画像の母指球筋の計測、及び手術前後の神経の速度から、術前の母指球筋の萎縮・神経の脱落が手術後の神経の速度にどのように関わるのかについて、後ろ向きに検討を行います。データは、過去に手根管症候群疑いとなった患者のMRI検査と神経伝導検査の結果を使用します。患者データは、病院内の装置付随のワークステーションにて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

用語説明

- MRI：強い磁石と電磁波を用いて体内の状態を断面像として描出する装置。
- 神経伝導検査：末梢神経を電気で刺激することで誘発される筋反応あるいは神経反応から、末梢神経の機能を調べる検査。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

**4．研究に用いる試料・情報の種類**

2010年4月～2026年3月に昭和大学藤が丘病院で手根管解放術の手術を行った患者さんの、

- ・手術実施日の年齢及び性別
- ・既往歴
- ・MRI 検査結果
- ・神経伝導検査結果

**5．外部への試料・情報の提供**

該当致しません

**6．研究組織**

研究責任者 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 放射線技術室 望月 草矢

**7．お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 放射線技術室 氏名：望月 草矢

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1-1 電話番号：045-974-2221